

(招聘ツアーの行程 概要)

3月7日(月)	3月8日(火)
【事業説明、今までの取組み内容説明】 14:30～16:00 ・事業説明 ・南エリアの取組み ・各エリアの紹介 ・ヒアリング	【恩納村】09:30～12:00 ・真栄田岬 ・恩納村文化情報センター ・なかゆくい市場おんなの駅 ・恩納村ふれあい体験学習センター ・アボガマ ・かりゆしホテル(昼食) 【宜野座村】13:30～15:00 ・ヒーピー浜 ・松田鍾乳洞 ・かりゆしカンナタラソラグーナ 【金武町】15:00～18:00 ・金武町ベースボールパーク ・金武町フットボールセンター ・金武町リハビリテーションクリニック ・ネイチャーみらい館

(招聘ツアーMAP)



(ツアー写真)

事業説明



事業説明風景



事業説明風景

恩納村



真栄田岬



恩納村ふれあい体験学習センター

宜野座村



ヒーピー浜



ノルディックウォーキング体験

金武町



金武町リハビリテーションクリニック



金武町フットボールセンター

⑤キーパーソンへのアンケート及び意見交換ヒアリング結果概要

調査概要

キーパーソンへのアンケート調査及び意見交換ヒアリングは、今回実施した招聘ツアーについて、参加者から評価をいただき今後の大会やキャンプ誘致及びツアー造成の参考とするために評価点や改善点の抽出を目的とするものである。

調査方法 : アンケート 招聘者に直接調査票を配布し、FAX、E-Mail、郵送で回収
ヒアリング 意見交換会により聴取

調査結果 抜粋

女子野球

調査方法 : アンケート

調査対象 : 招聘ツアー参加者2団体 計4名 回収 2 サンプル

調査期間 : 平成 27 年 12 月 11 日 (ツアー開始日)～12 月 25 日 (回収期日)

Q:南エリアの視察対象施設や観光地について	
評価点	球場施設は女子野球を誘致するには十分すぎる施設で何ひとつ申し分ない。 宿泊施設に関しては、ペンション等は沖縄らしい普段とは違った経験が出来て大変良い。
課題点	女子チームであるため監督男性1人となり、宿舍や部屋の割当て、料金が課題となる。 チームメイト人数分のユニフォームを洗う洗濯機の確保が必要である。
Q:大会開催、キャンプ誘致について	
恩納村・宜野座村・金武町にはそれぞれ素晴らしい球場があり、大会を開催する環境は最高。 大会開催に当たって今後の課題は、大会運営のスタッフ人員の確保が必要。 大会の参加チームを増やせば、試合や球場など大会を運営するスタッフは増えるため、現状は3人～4人で対応しており、運営のためこれ以上チーム数を増やせない。3町村合同で大会を拡大し参加チームを増やすのであれば、スタッフの確保が必要。 キャンプ誘致においては、宿泊施設と球場をつなぐ移動手段であるマイクロバスなどが必要。	

ノルディックウォーキング

調査方法 : アンケート

調査対象 : 招聘ツアー参加者 3名 (回収3サンプル)

調査期間 : 平成 27 年 12 月 13 日 (ツアー開始日) ~ 12 月 25 日 (回収期日)

Q: 南エリアの視察対象施設や観光地について	
評価点	サンライズウォーキングや、海岸沿いの砂浜を歩け、マングローブ林、パワースポット等が魅力的である。 海岸沿いに夕日を見ながら歩き、道の駅で買い物を楽しむことが出来る。
課題点	観光客が沖縄に求めるのは海であり、そのため海岸線をつなぐ遊歩道の整備が必要。
Q: ツアー造成に向けて	
JNFA もしくは INWA 公認コースに登録し付加価値をあげる。 各市町村のプログラム内容を重複させずに、1回の旅行で3町村を巡るバタバタする内容にするのではなく、市町村の良さを知ってもらうため、質をあげ付加価値を付けることが重要であり、質が良いとリピーターも増える。 人数よりも質をあげることが大切である。	

空手道

調査方法 : ヒアリング

調査対象 : モニターツアー参加者 2 人 (回収 2 サンプル)

調査期間 : 平成 28 年 2 月 8 日、9 日

Q: 南エリアの視察対象施設や観光地について	
評価点	施設は3町村とも立派であり、ロケーションが合宿には最適である。 プロ野球選手が使用する施設は、アマチュアにとっては、最上級の施設である。
課題点	各施設も観客席の数が少ないため、大会を開催するのが難しい。(セミナーなら可能) 大会開催には空手用マットの準備が必要である。
Q: 大会、セミナー開催に向けて	
いきなり大きな大会は難しいため、小さな大会から開催し実績を積み上げればいい。 沖縄はアジア文化の拠点として、イベントを企画してみてもどうか。 県内の選手、ナショナルチームの選手を招いて、国際セミナーであればすぐに開催できる。	

旅行社

調査方法 : アンケート

調査対象 : モニターツアー参加者 5 人 (回収5サンプル)

調査期間 : 平成 28 年 3 月 7 日 (ツアー開始日) ~ 3 月 15 日 (回収期日)

Q:南エリアの女子スポーツ競技について	
評価点	「女子スポーツ」というコンセプトが明確である。旅行は女性主導のため良い。 女子野球の W 杯5連覇もあることから発展性は十分ある。ノルディックについては、 気軽なスポーツであり、旅行社にとっても商品化しやすい素材である。
課題点	女子野球は時期 12 月～3月と集中してしまう。 ノルディックはどこでも出来てしまうため、沖縄ならではの付加価値が必要である。 空手の商品化はイメージがつかず難しい。
Q:ツアー商品の造成に向けて	
キャンプではなく、大会、イベントを実際運営してみて、必要なこと、課題を洗い出すことが重要である。	

⑥パンフレット製作

- ・ 南エリアにおいて、女子スポーツ誘致を推進していることを内外に向けて PR することを目的に、エリア内の運動施設や観光資源等の紹介をはじめ、パンフレットを製作した。

仕 様 :A4 版 全 16 ページカラー 1,000 部

利用方法 :地域内での周知、旅行社やスポーツ関係へ PR ツールとして活用する

パンフレット表紙・裏表紙



（連携プロジェクトの成果）

■スポーツ誘致の可能性が確認できた

- ・ キーパーソンへのアンケートや意見交換により、スポーツ誘致のフィールドとして施設や環境の満足度は高く、誘致する可能性は十分にあることが把握できた。

■地域の魅力や改善点が抽出された

- ・ 招聘ツアーにより朝日や夕日、海岸線など地域の魅力が商品に付加価値を生むということを再認識し、満足度の高い商品に仕上げるには、3町村の協力体制、人材育成、インフラ整備などが必要といった課題も洗い出された。
- ・ キャンプについては3町村とも既にプロ野球や団体のキャンプが行われていることから、時期的なタイミングの問題があり、閑散期に誘致できるスポーツを検討する必要がある。

■次年度に向けた内容が明確になった

- ・ 旅行社に商品化目線で検討してもらったことで、現在の状況や商品化につなげるための次のステップが明確になり、今後、関係機関との調整すべき方向性がわかった。

■プロジェクトチームの協力体制の醸成

- ・ 今回のプロジェクトを3町村・団体が共同で取り組むことで、関係機関のネットワークが醸成された。

（今後の課題）

■商品の明確化

- ・ 商品化したいものを具体的につなげて、コンセプト等、何が提供できるのかが分かるストーリー性のある商品づくりを行うことが必要である。

■大会やセミナーの実践

- ・ 商品化に向けて、大会を開催し、実践を通して課題を出して商品の質を高めることが必要である。
- ・ これまで3町村それぞれでは、大会やセミナー開催の経験があるが、連携して受け入れた実績は今のところなく、既存の大会やセミナーの拡大、小規模な大会やセミナーなどから、連携で受け入れる実践を行いながら実績を積み、徐々に拡大していくことが必要である。

■地域との連携

- ・ 地域との役割分担や相互のメリットを明確にし、地域全体と協力体制を構築することで、大会やセミナー、ツアーによる地域経済へ波及効果が生まれるような仕組みを検討する必要がある。

■プロジェクト事務局の明確化

- ・ 地域主体の取組みとしていくために、今回のプロジェクトチームに明確な窓口となる事務局を作り、地域側のコーディネートをはじめ、旅行社や航空会社、メディアなど対外的なネットワークづくりや営業・販売活動を行っていく必要がある。

3)いいなエリア 『いいな3村歴史探訪ツアー推進プロジェクト』

①プロジェクト概要(当初企画概要)

連携プロジェクト名称		いいな歴史探訪ツアー推進プロジェクト
市町村／関連団体名		伊是名村、伊平屋村、今帰仁村
市町村／関連団体名		伊平屋村、伊是名村、今帰仁村、伊平屋島観光協会、一般社団法人いぜな島観光協会、一般社団法人今帰仁村観光協会
代表窓口／実施体制		一般社団法人今帰仁村観光協会
現状の問題点		・伊是名村・伊平屋村の2村は本部半島の今帰仁村運天港を寄港する離島地域であり、両村へのアクセスは海路フェリーを介する必要があるため、観光客が少ない。また、伊平屋島、伊是名島へのフェリー航路は欠航が多く、観光客の周遊を阻害する要因ともなっている。 ・一方、本部半島の海洋博公園には年間400万人の来場者が訪れるが、周辺地域の観光資源はまだ知られていないこともあり、今帰仁村でも誘客の魅力づくりが課題となっている。
取組内容	①連携プロジェクトの目的	・伊是名村・伊平屋村・今帰仁村は共に歴史的に琉球王朝の始まりに起因する地域であり、伊是名玉陵、屋敷墓、世界遺産の今帰仁城跡があり、尚円王生誕地、尚巴志の曾祖父鮫川大主生誕地、北山王攀安知(ハンアンチ)統括地等の歴史が息づいている。 ・芸能においても、伊是名村の「尚円太鼓」、伊平屋村の現代版組踊「伊平屋チムドンキッズシアター」、今帰仁村の現代版組踊「北山の風」、と地域を題材とした芸能も存在し、各地域の地域興しの一翼を担っている。また、平成27年度伊是名村においては「尚円王生誕600年祭」と銘打ち、様々なイベントが企画されている。 ・これらのコンテンツの交通整理を行い、歴史を紡ぐ4村の周遊ツアーを造成し、地域資源の掘り起こしと持続可能な商品開発を提案する。
	②連携プロジェクト(モニターツアー等)概要	プラン1 : 今帰仁村(今帰仁城跡)→伊是名村(伊是名玉陵)宿泊→※夜は尚円太鼓の演舞披露 伊平屋村(屋敷墓)→今帰仁村(北山の風)演舞 ※道の駅今帰仁周辺で演舞を行い、観光客の購買意欲を誘引 プラン2 : 今帰仁村(今帰仁城跡)→伊平屋村(屋敷墓)宿泊→※夜はチムドンキッズシアター演舞披露 伊是名村(伊是名玉陵)→今帰仁村(北山の風)演舞 ※道の駅今帰仁周辺で演舞を行い、観光客の購買意欲を誘因 代替プラン: フェリー欠航時の代替プランを準備しておく ・スタンプラリー等を行うと同時に、各村の歴史背景や伝統文化の問題を取り上げクイズ形式で出題し、認定書を発行する。これにより3村ファンの獲得を図り、フェリー欠航の場合においても、次回へ2離島周遊のモチベーション維持等を図る。 ・さらには、各村の特産物を食材とした食事を提供することにより、旅の大きな楽しみである「食事」を充実させる。
	③ターゲット(モニター対象)	旅行社、メディア関係者及び一般募集 1. 歴史に興味がある若者 2. 60歳以上で時間的にゆとりがある年齢層
	④人数・日数・実施時期	人数:20名のバスツアー × 2回 日数:2泊3日 実施時期:8月後半～2月
実施の目標		・3村連携のモデルプランを作成
モニターツアーで検証する内容		・3村連携での取組み
取組後の展開		・検証内容より課題の対策などを講じたうえで本格的なツアー造成を展開する。

②企画会議の開催経緯

企画会議(1回目)

日時：平成 27 年 8 月 21 日（金）10：30～

場所：今帰仁村役場

内容：①平成 27 年度の企画概要確認

②代表団体について

- ・一般社団法人今帰仁村観光協会で検討

③今後のスケジュールについて



企画会議(2回目)

日時：平成 27 年 9 月 7 日（月）13：30～

場所：今帰仁村役場

内容：①代表団体について

- ・一般社団法人今帰仁村観光協会で決定

②連携プロジェクト内容調整

- ・歴史に加えてアウトドアスポーツ

や移住・定住などを加える案があがった



企画会議(3回目)

日時：平成 27 年 12 月 18 日（金）11:00～

場所：今帰仁村コミュニティセンター

内容：①モニターツアープランの確認

- ・（株）ジャンボツアーズにツアー造成とモニター募集を依頼
- ・テーマは「歴史探訪」を基本に、各地の魅力をできるだけ盛り込む。

②受入れに関する役割分担等

④今後のスケジュール

企画会議(4回目)

日時：平成 27 年 2 月 15 日（月）15:00～

場所：電話会議

内容：①PR パンフレットの構成について

※ いいなエリアは、伊平屋村、伊是名村が離島のため集まる回数は限られたが、メールや電話、その他多様な機会を利用して適宜情報の共有を図った。

③3町村連携体制

(連携体制図)

- 3町村が連携体制を築き、代表団体及び総合窓口として一般社団法人今帰仁村観光協会が取りまとめを行った。

図 連携体制図

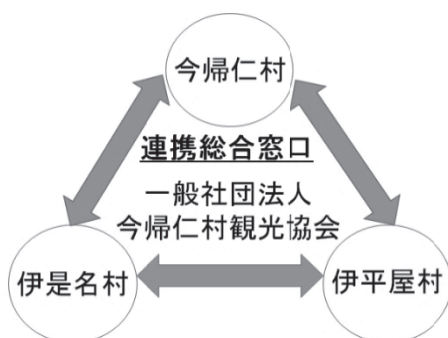
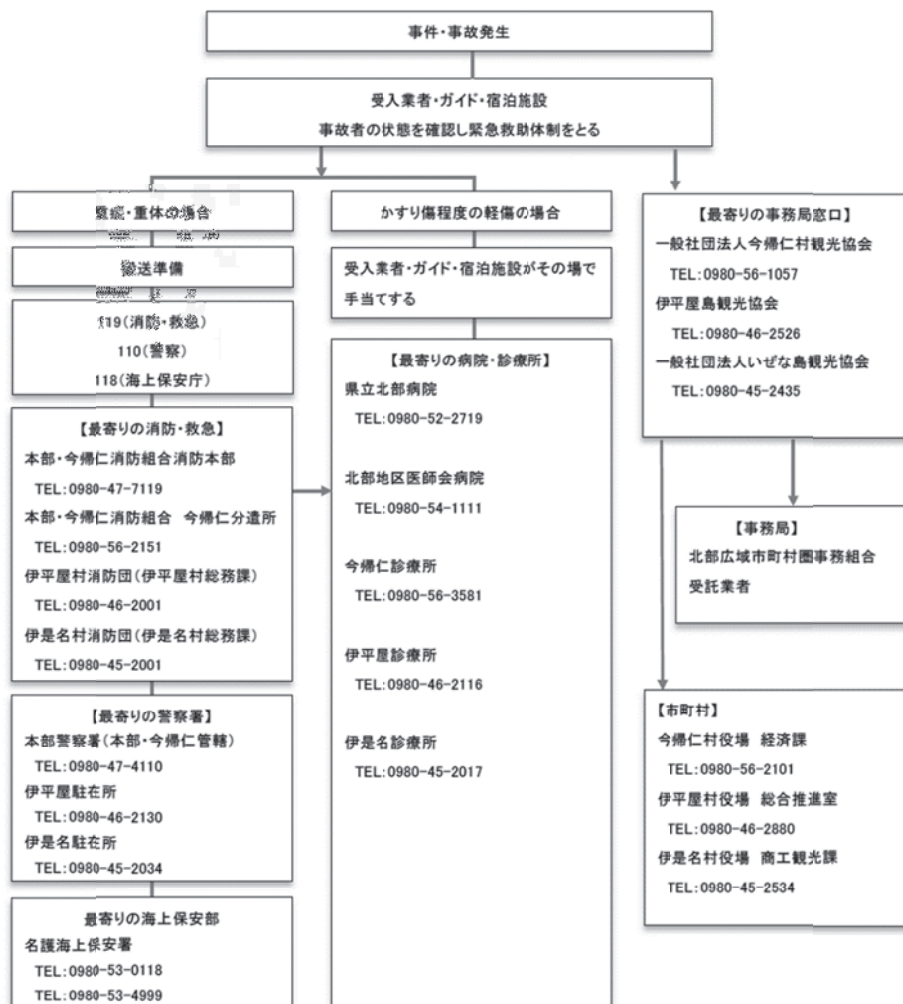


表 連携村関連団体名

伊平屋村	伊平屋村 総合推進室
	伊平屋村観光協会
伊是名村	伊是名村 商工観光課
	(一社)いぜな島観光協会
今帰仁村	今帰仁村 経済課
	(一社)今帰仁村観光協会

(緊急連絡体制図)

- 広域に跨るため、事故発生時には以下のような緊急連絡体制で連携し、受入れ側の周知を行っ



保険について ツアーご利用のお客様の万への事故に備えて、旅行事故対策費用保険(国内)と旅行特別補償保険に加入しています。保険加入料はツアー料金に含めて事務局で負担しています。内容は下記のとおりです。

1 旅行事故対策費用保険(国内)
事故対策費用・救護者費用 100万円/1旅行者
・旅行社への弔慰金・見舞金、家族などの渡航費用、現地に派遣するスタッフの渡航費用、通信費用、緊急応対費用等

2 旅行特別補償保険(国内)
死亡後遺障害保険金 1,500万円/入院見舞金 2万~20万円/通院見舞金 1万~5万円/携行品損害補償 15万円程度

④モニターツアー実施概要

第1回目 日程:平成 28 年 1 月 23(土)～25 日(日) 2泊3日

(モニター募集)

- ・ 第1回目のモニターツアーは、一般から 20 名を募集した。
- ・ 伊平屋村、伊是名村でツアー集客実績のある旅行社(ジャンボツアーズ)の協力を得て、一般募集を行った。第1回、2回合わせて 40 名の定員に対し 200 名以上の応募があった。
- ・ 第1回目の 20 名は、羽田発、伊丹発、福岡発で選定した。ツアー前日に2名が都合によりキャンセルとなり 18 名での実施となった。

(モニターツアーの内容)

- ・ モニターツアーの内容は、企画会議で各地域から観光スポットを提案するとともに、旅行社(ジャンボツアーズ)と調整し決定した。
- ・ 実施時期は、旅行社からの提案もあり「今帰仁グスク桜祭り」の時期(1月 21 日～2月6日)に合わせ、そのうちの土日月曜日を選定した。
- ・ 2泊3日の日程の中で今帰仁村、伊是名村、伊平屋村の各地を巡るコースを設定した。第1回目は、初日に今帰仁村を周り、今帰仁村内宿泊、2日目に伊平屋村に渡り、観光と宿泊、3日目に伊是名村に渡り、午前中観光して本島(運天港)に戻るという行程とした。(第2回目は2日目伊是名村)
- ・ 第1回目のツアー期間は、全国的に記録的な寒波に見舞われた日と重なり、悪天候の下での実施となった。2日目の伊平屋村に渡るフェリーが欠航し、2日目、3日目は、代替メニューで対応した。

(モニターツアーの行程 概要)

1 日目 1 月 23 日(土)	2 日目 1 月 24 日(日)	3 日目 1 月 25 日(月)
各地～那覇空港 (羽田発、伊丹発、福岡発) 那覇～今帰仁村 (観光バスチャーター)	09:00～12:00 ※ 伊平屋向けフェリーが欠航 (代替メニュー) ■あいあいファーム 豆腐づくり	(代替メニュー) ■古宇利オーシャンタワー
昼食	昼食(今帰仁村内)	昼食(名護市内)
14:00 ■今帰仁村ハート岩見学 15:30 ■今帰仁グスク桜まつり	14:00 (代替メニュー) ■リカリカワルミ ■嵐山展望台 ■美ら海水族館	今帰仁村～那覇空港 (観光バスチャーター) (代替メニュー) ■瀬長島ウミカジテラス(豊見城市) 那覇空港～各地
17:30:ホテル着(今帰仁村内)	17:00:ホテル着(今帰仁村内)	

(ツアー写真)



ハートロック(今帰仁村)



今帰仁城跡(今帰仁村)



豆腐作り体験(今帰仁村)※代替メニュー



嵐山展望台(名護市) ※代替メニュー



バスで移動中に伊平屋島の紹介



古宇利オーシャンタワー(今帰仁村) ※代替メニュー

第2回目 日程:平成 28 年1月 30 日(土)~2月1日(月) 2泊3日

(モニター募集)

- 第2回目のモニターツアーは、第1回目にキャンセルとなった2名を補填し、一般から 22 名を募集した。
- 第2回目の 22 名は、羽田発、中部国際空港、伊丹発で選定した。

(モニターツアーの内容)

- モニターツアーの内容は、企画会議で各地域から観光スポットを提案するとともに、旅行社(ジャンボツアーズ)と調整し決定した。
- 実施時期は、「今帰仁グスク桜祭り」の期間内(1月 21 日~2月 6 日)の土日月曜日を選定した。
- 第2回目は、初日は今帰仁村を周り、今帰仁村内宿泊、2日目に伊是名村に渡り、観光と宿泊、3日目に伊平屋村に渡り、午前中観光して本島(運天港)に戻る行程とした。
- 初日の今帰仁村は小雨が降り、2日目の伊是名村では快晴となったが、3日目の伊平屋村では再び小雨となった。

(モニターツアーの行程 概要)

1日目 1月 30 日(土)	2日目 1月 31 日(日)	3日目 2月1日(月)
各地~那覇空港 (羽田発、中部国際発、伊丹発)		08:40 渡し船で伊平屋村へ
那覇空港~今帰仁村 (観光バスチャーター)	10:30 フェリーいげな尚円で伊是名村へ	09:00 ■伊平屋村内観光 ・ソルトクルーズ、野甫島~野甫大橋(車窓から)、ふれあい民俗資料館、念頭平松、クマヤ洞窟、無蔵水、ヤヘー岩(車窓から)、屋蔵墓
昼食	昼食(伊是名村内)	昼食(伊平屋村内)
14:00 ■今帰仁村ハート岩見学 15:30 ■今帰仁グスク桜まつり	13:00 ■伊是名島内観光 ・みほ所(尚円王誕生地)、・逆田、銘苅家、ふれあい民俗資料館、二見が浦展望台、伊是名城跡	13:00 フェリーいへやⅢで運天港へ 運天港(今帰仁村)~那覇空港 (観光バスチャーター)
17:30:ホテル着(今帰仁村内)	16:30:民宿着(伊是名村内)	那覇空港~各地

(ツアー写真)



ハートロック(今帰仁村)



今帰仁城跡(今帰仁村)



尚円王生誕地(伊是名村)



銘苅殿内(伊是名村)



念頭平松(伊平屋村)



クマヤ洞窟(伊平屋村)

⑤モニターアンケート結果概要

第1回目

- （調査概要）

モニターアンケート調査は、今回実施したモニターツアーについて、参加者から評価をいただき、ツアーの商品化に向け今後の取組みの参考とするために評価点や改善点の抽出を目的とするものである。

- （調査方法）

調査方法 : ツアー参加者に直接調査票を配布し、FAX、E-Mail、郵送で回収

調査対象 : モニターツアー参加者 18 人（回収 16 サンプル）

調査期間 : 平成 28 年1月 23 日（ツアー開始日）～2月5日（回収期日）

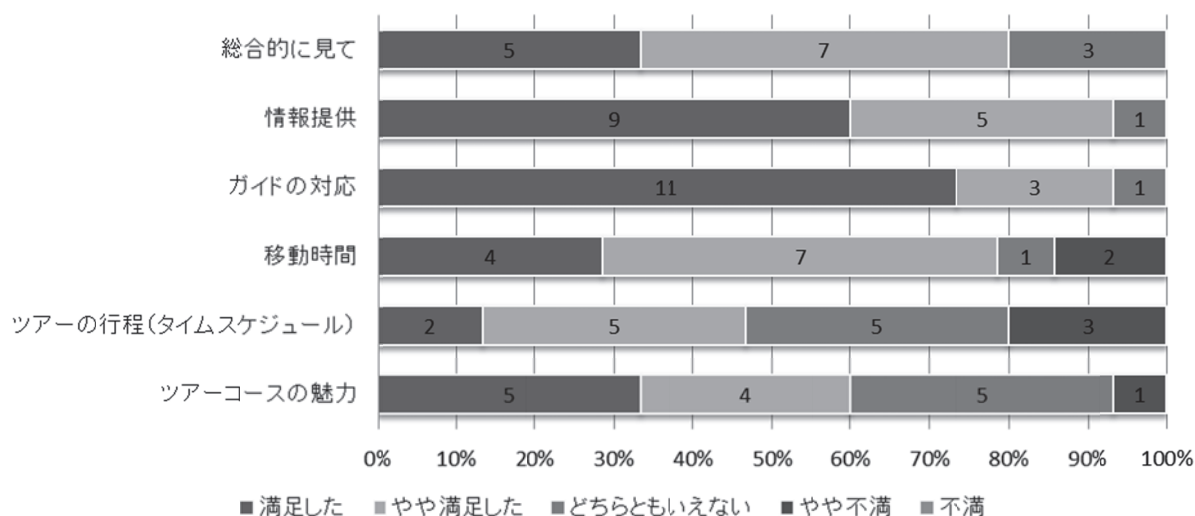
- （調査結果） 抜粋

Q: ツアー全体についての満足度

ツアーの満足度について、総合的には 8 割が「満足した」、「やや満足した」と答えている。

項目別にみると、ガイドの対応については満足度が高かったが、ツアーの行程、移動時間などで満足度が低い。

図 ツアーの満足度(1回目)



Q: 力を入れるべきサービスや改善点 記述回答（抜粋）

第1回目は、全国的な寒波と悪天候に見舞われ、2日目の伊平屋村に渡るフェリーが欠航し、島に渡れないというアクシデントがあった。これに対する意見が多くなっている。荒天時の代替メニューは、島に渡ることと同じぐらいの楽しみを準備する必要がある。また、伊平屋、伊是名に渡ることを目的に來ているので、代替ツアーの間にも島の紹介をすることで、次回来てもらうような対策も必要である。

また、今回のモニターに応募した客層は、沖縄リピーターの中でもヘビーリピーターであることが伺え、地域の食や交流、地域の空気を感じることに高いニーズが高いことが伺える。

- 島や今帰仁村などなかなか情報が入らないため、観光中にしっかりガイドして下さると良いなと思いました。
ホテルに関しては、やはり食事が満足できると良いなと思います。
- 私が一番気になったのは、島のホテルや民宿はどんな風なのだろうか・・・ということでした。
最初は民宿で、バストイレなしでしたが、最終的にシャワートイレ付きのホテルになっていて嬉しかったのは事実です。
- 沖縄は大好きです。そんなに豪華さも求めてはいません。けれどもやはり時間を使ってお金を使って行く先の宿泊ホテルはきれいでほっとする空間であって欲しいです。
- 今回は特別だったのかも知れませんが、船は大丈夫だろうか・・・というのも気になっていました。
行ったものの帰れないことはないのだろうか・・・とも思っていました。
また伊平屋は島民メインのフェリー運航になっており、日帰りが困難だということも聞きました。
フェリーの本数がもっと増えれば安心される方も増えるのではないのでしょうか？
- 沖縄の地元の方々との交流や、何かの体験(今回は車窓から見えるサトウキビが気になりサトウキビの収穫などを体験したいと思いました)に力を入れると良いかもしれません。
- ツアーの内容としては、島に渡れなかったこともありインパクトに欠けるものとなってしまった感はありませんが、急遽行われた豆腐作り体験などがあり、十分に楽しめました。
- ⇒感じたこと。
今回2島訪問は出来ませんでしたが、年間を通じ行きたいコースと思います。 季節により船の運航に支障がでるなら、離島コースの代替コースが必要となり 変更コース設定が難しいのかなと感じました。
- 既に各種イベントが開催されており、これらのイベントとの組み合わせも企画出来るのではないのでしょうか。
- 私も沖縄大好きで何度か訪れておりますが、今回のコースは検討したことがありませんでした。
- 定年層をターゲットにした場合（私の廻りの友人を思い浮かべたとき）数的に多くなっていいのでこれぞ沖縄料理というきっちりとした料理をだしてほしい。リカリカワルミのソーキそばのような離島の場合は家庭料理。
- JAL や JTB のツアーでベルパライソ宿泊のお客さん用のオプションツアーとして今回のツアーを入れてみてはどうでしょうか。天候がわるい場合の代替を考えておかれるほうが良いと思います。
- 天候が悪い時にどうするかだと思います。
- やはり「食」だと思われます。旅は「文化」「自然」「食」の三要素がとても大事だと思いますが、今回体験した限りでは「食」が弱いと感じています。ホテルにしても休憩所にしても、那覇市内でも食べられるような食事を出すのではなく、そのエリアの独自性をもっとアピールしても良いのではないのでしょうか。また、今は無農薬・無添加など食の安全性に対して敏感になっている人が多いため、従来の沖縄料理にこだわらず、このエリアで食べられる地元の野菜を使ったピザやパスタなどを提供してもよいと思います。
- 宿泊においては今回宿泊したベルパライソがメインになると思われますが、夕食が終わると何もすることが無くなってしまうため、夜のアクティビティ（星空見学など）を導入してもよいと思われますし、地元の方と一緒に食事を楽しむ機会を設けても面白いかも。